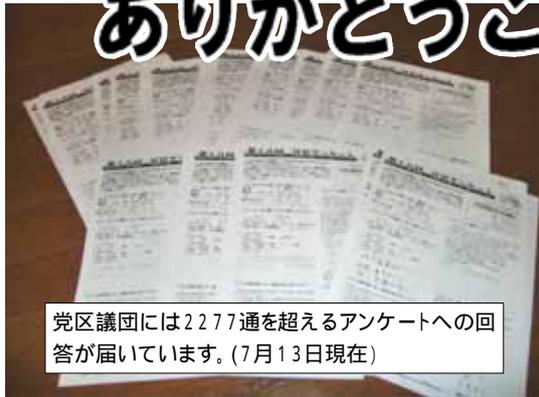




日本共産党区議會議員
こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650-4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

区民アンケートへの回答 ありがとうございます



党区議団には2277通を超えるアンケートへの回答が届いています。(7月13日現在)

「子どもが成長するにつれ生活費、教育費が増える一方です。税金が増え、控除は減り…この先どう生活したらいいのかわからない」
(35歳・女性)
中間報告

日本共産党足立区議団が行なっている第10回区民アンケートはすでに2277名以上の区民から回答(7月12日現在)が届けられています。ご協力ありがとうございます。

現在も少しずつ回答が届けられ最終集計はこれからですが、中間報告として今回のアンケートは昨年とは違った変化が起きています。集計でわかってきました。

回答を頂いている年齢層を分析すると、明らかに変化は30代の回答が多く見られます。

しかも生活実態を踏まえた内容とともに、意見や要望が細かく書かれているのが特徴です。いくつかを紹介しましょう。

年収の落ちこみ、教育費増 医療費負担など暮らしの困難

夫の転勤で家族で引っ越してきました。私は仕事をやめてきたので収入が減り、暮らしが大変です。働きたくても保育園が入れません。

働きたくても働けませんが、認可保育園をつくらせて下さい。(39歳女性)
病院に行くとお金がかかる。子どもはタダなんです。つこく助かる。でも私や旦那は病院に行かずガマンする。(35歳女性)

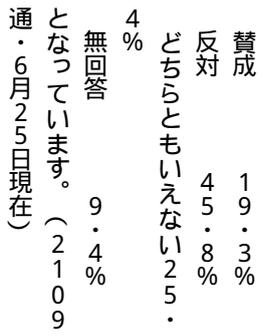
学校に行くに給食費だけだと思っただけ、けつこつそれ以外にお金がかかる。洋服代やならいことなど他に、PTA会費や教材費やらびつくり。子ども手当で嬉しいけど、消費税が上がったら生活できないよ。(31歳主婦)

このようなアンケートで区民の意見を聞くのはとてもいいことだと思います。政治のことに意見を言う場はないので…。日本のこと本心に考える政治家に期待したいです。(36歳女性)



第10回・区民アンケートは6月初旬から行ってきましたが、区政への要望、すぐに直してほしい道路、公園など意見が多数寄せられています。寄せられた要望は区の関係所管にただちに要望していきます。すでに一部地域では実現

したものもあります。消費税の質問にも関心が高いことがうかがえました。消費税増税に対しての賛否は?



一般新聞、マスコミの世論調査では賛成の割合が高い数字となつていますが、設問に国の借金返済のためとか、社会保障の財源など前提をつけているためであると思われれます。

回答の理由は以下の通りです。**賛成の理由**
・国の借金を返済するためにはしかたない。
・年金等や特養ホームを増やしてほしい。それなら賛成。

反対の理由
・これ以上税金をとるなんてありえない。金持ちから所得税とかでとれ。庶民からとるな。
・借金をつくつたのはこれまでの自民党政権ではないか。責任をとるべきだ。
・無駄なものをつくらない。やつとの思いで食べているのにこれ以上増税になると死を考えるとならぬ。

解説—今度の消費税増税計画は、大企業の法人税引き下げとセットで打ち出されています。日本経団連は、今年4月、「消費税は一刻も早く引き上げる」、「法人税は引き下げる」という方針書を出しました。財界は、法人税率を15%も下げるといっています。経済産業省も、同様の数字をあげています。これは、消費税率にすると4%分になります。これでは、消費税を5%上げた分は、ほとんど法人税減税の「穴うめ」に使われてしまいます。こんなやり方では、財政再建にも、社会保障財源にも役立たず、庶民の家計をこわし、消費を冷やし、景気をいよいよ悪化させるだけです。日本共産党は大企業減税「穴うめ」の消費税増税にストップをかけるために全力をあげます。

・収入が減っているときに増税したらもっと生活が苦しくなる。
・もっと景気が悪くなる。商売をやっていけない、廃業しなくてはならない。

どっちともいえない理由
・すべてのものに一律にかけるべきでない。贅沢品(宝飾品、ブランド品)嗜好品(タバコ・酒)に対して増税し、生活必需品には非課税にすべき。
・税金の使い道を明らかにして、必要なことに使われるのならば、ただ増税しただけでは納得いかない。



国連子ども権利委員会からの 3回目の勧告は子どもたちに希望

足立区の学校教育 にも問われる事柄



小学校のグループ指導の授業風景

子どもの権利に対する 日本政府の姿勢が問われる

子どもの権利条約の実施状況にかんする日本政府の第3回報告を審査していた国連子どもの権利委員会がこのほど最終所見を採択し、「過度に競争主義的な環境による否定的な結果を避けることを目的として学校制度および学力にかんする仕組みを再検討すること」などを勧告しました。子どもの権利に対する日本政府の姿勢が改めて問われることになりました。

この勧告を足立区の教育行政にあてはめて考えてみましょう。

まず、過度な競争主義的な



民と十分な話し合いをして下さい」との陳情も提出されました。

小規模校の良さは無視し強行 無理の「押し道」はとりに

最近開かれた第4回統合協議会では、どうしても協議会の意見がまとまらない状況を受けて教育委員会が議論を引き取る形になりました。

話し合いしないと打ち切り 何がなんでも強行突破!

しかしここでも教育委員会の強引さがあらわれ、統合協議会では「次回までに教育委員会の考えをまとめてくる」と述べただけなのに直後に発行された協議会ニュースでは「教育委員会が決定する」と変わり、「これ以上の話し合いは、統合後の関係にも影響しかねない。」として強引に議論を打ち切り強行突破を宣言するに至りました。

本木東小の統廃合問題

特に本木東小学校の統廃合を強引にすすめるようとする区教委の態度は異常なほどに強引です。本木東小と本木小の統合については、昨年3月に区教委が統廃合計画を発表して以来、地域では不安と疑問が広がり「地域の声を聞いてほしい」との声が上がっており、「本木東小学校の統廃合を拙速に決定せず、父母および地域住

民と十分な話し合いをして下さい」との陳情も提出されました。最近開かれた第4回統合協議会では、どうしても協議会の意見がまとまらない状況を受けて教育委員会が議論を引き取る形になりました。



「教育基本法前文のいう「真理と正義を希求し、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成」すべき教育委員会にあるまじき態度といわざるを得ません。

消費税増税を許さず、くらしと平和を守るため全力をつくします

今回の参議院選挙で日本共産党は比例代表選挙で356万3554票を得て3議席を獲得しました。東京都では49万7151票、足立区の開票結果は2万7628票、得票率9.58%の結果でした。東京選挙区(定数5)の小池あきらさんは55万2187票、足立区は3万359票を得ましたが、議席を得ることができない結果となりました。

ご支援、ご協力に感謝しつつ、掲げたくらし応援の経済政策への転換など公約実現に向けてみなさんと力を合わせてがんばります。



日暮里から成田空港第2ビルまで 最速36分 スカイライナーに試乗

7月17日から運行した京成電鉄スカイライナーに6月末に区議会・交通網都市基盤整備調査特別委員会副委員長として他区の関係者とともに京成上野から成田まで往復試乗してきました。

伊藤和彦